

ナレーションセッティング

今日はfloat(32bit float)で撮りましょう。

マイク周りの設定

- ポップガード
- リフレクションフィルター

をつけましょう。マイクには方向がありますね。あってますか？

オーディオインターフェイスの設定

Windowsの人は <https://zoomcorp.com/ja/jp/field-recorders/field-recorders/f3/f3-support/> から、F3ドライバをダウンロードして、インストールの必要があります。

USBケーブルでコンピュータ、キャノンケーブルでマイクを接続し

1. 電源ON
2. MENUボタン
3. 「USBオーディオI/F」 ENTER
4. 「PC/Mac Enter」
5. 24ビットモードなら**Linear**, 32ビットフロートモードなら**Float**にしてEnter

Linear/Floatは、画面上に表示されます。

拡大・縮小 / ファントム電源設定

左から1,3番目のスイッチは

- Linearモードではゲインになります。
- Floatモードでは、ヘッドフォンの音量調整にはなりますが、データへの影響はありません。

左から2,4番目のスイッチはファントム電源の設定が行えます。

Auditionの設定

新規ファイルで作成時に

- サンプルレート(48000)
- チャンネル(マイクならモノラル)
- ビットデプス(Linearなら24, Floatなら32浮動小数)

で作成しましょう。

録音してみよう。

リフレクションフィルター有り、無しでとってみよう。